

科目の年間授業計画

教科・科目	芸術・音楽Ⅰ 〈必修科目〉		単位数 2単位	履修学年(年次) 1年(年次)
目標	音楽の諸活動を通じて、創造的な表現能力を伸ばすとともに、鑑賞能力と音楽知識を身につける。			
使用教材	MOUSA1 (教育芸術社)			
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりし、また音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	
評価方法	授業観察、各種プリント到達度、定期考査、アナライザー 等について3観点別に評価する。			
学期	学習のねらい			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典(初級) ・声を出そう ・ヨーロッパの音楽 ・校歌を歌う 	<ul style="list-style-type: none"> ・音名の理解(階名、日本音名、ドイツ音名) ・正しい発声法の得とく ・読譜力を身につける ・季節と音楽の関わりの理解 ・音楽と時代背景の学習 ・有名作曲家の有名作品の知識を身につける 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典(初級) ・ヨーロッパの音楽からイタリア語の歌、ドイツ語の歌 	<ul style="list-style-type: none"> ・音符、休符の理解 ・オーケストラの魅力(楽器の名称) ・劇と音楽(オペラ、ミュージカル鑑賞) ・伊語、独語での歌唱 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典(初級) ・アメリカ、アジア、アフリカの音楽等いろいろな音楽に親む 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍子記号の理解(リズム) ・踊りとリズム ・民族楽器について 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の取り扱いに関しては、生徒の個性・特性、地域や学校の実態を考慮する。 ・鑑賞教材には、郷土の音楽および民族音楽、タイムリーな楽曲を含めて扱う。 ・卒業後を考え、社会に出てから役立つ音楽教育を心がける。 			

科目の年間授業計画

教科・科目	芸術・書道Ⅰ 〈必修科目〉		単位数 2 単位	履修学年(年次) 4 学年 (年次)
目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。			
使用教材	書道Ⅰ (光村図書出版)			
評価の観点・評価規準	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
	書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組む。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけて表している。	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	意欲・関心を持って課題に取り組む姿勢・表現の工夫などの観点に基づき総合的に評価する。 提出した作品・硬筆練習等をもってテストに替える。			
学期	学習内容		学習目標	
1	○楷書の学習 ○硬筆による学習		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での書写の学習を発展させ、芸術的な表現ができるようにする。 ・唐の代表的な古典を通して楷書の美しさと技法を学ぶ。 ・書が生活のあらゆる場面で生かせることを理解する。 	
2	○行書の学習 ○作品制作 ○硬筆による学習 ○仮名の書の学習 ○漢字仮名交じりの書の学習		<ul style="list-style-type: none"> ・古典を通して行書の美しさと技法を学ぶ。 ・半切1/2や1/3の大きさに作品を完成させ、構想から作品までの流れを通じ充足感や喜びの体験をし、自己を主体的に表現する能力をのばす。 ・仮名の美しさや柔らかさを感じ取り、その美しさと技法を学ぶ。 ・素材となる言葉を理解し、どのような表現がよいかを考え表現する。 	
3	○漢字仮名交じりの書の作品制作		<ul style="list-style-type: none"> ・学んできたことを基に作品制作し、自己を主体的に表現する能力をのばす。 	
学習上の留意点	上手く書くだけでなく、努力している様子(学習への取組み)も重視する。			